

平成28年8月1日発行

セミの鳴き声が賑やかに夏を知らせてくれます。先日は5歳児のお泊まり保育がありました。子ども達はこの日に向けて何度も何度も話し合いを重ねてきました。この2日間をどう過ごすのか自分たちで決めて自分たちが主体で行動しました。「話が聞けるように頑張る」など自分達の目標を決め、取り組んできました。夕食や朝食のメニューを考えたり、自分達でクッキングしたりいろいろな経験が「みんなでやった」という手ごたえになって心に残っていきます。お泊まり保育前日、カップ親父のせんのしんじゅさまから甲山に来て助けてほしいと手紙が届きました。居ても立っても居られない子ども達、手紙に応えようと甲山に飛んで行きますが、みんなで力を合わせないと助けることが出来ません。当日の様子は子ども達から詳しく聞いてくださいね。夜は先生たちが総出で準備してくれたお気に入りの泡風呂で大はしゃぎ、自分たちで作ったお風呂の歌を歌いながらみんなで体をこすりあったり、肌チェックをしたり普段できない生活を楽しみました。「もうあと1日だったら子どもだけで泊まれるよ」「私は3日間なら出来るよ」と名残惜しそうな子ども達でした。お母さんのお手紙も職員みんなが見ている中で読んでもらい、こども達の嬉しさと恥ずかしさいっぱい表情に私達も温かい気持ちになりました。朝食もしっかり食べ余裕の子ども達、友達と力を合わせた大きな経験が秋からの運動会に向けての力になることを楽しみにしています。

8月8日は平和の集いをします。去年は中止になったので今年が初めての試みです。「保育園の平和の取り組みって？」とイメージが湧かない方もいるかもしれません。ゆめっこ保育園のある用海地域に住んでいるご夫婦（奥さまは元公立幼稚園の先生でした）にお越しいただき、地元の空襲体験や戦中戦後の用海の街の様子など話して頂きます。何でも知りたい子ども達、たくさん質問すると思います。平和とは「相手の気持ちを大切にすること、それはみんなの命を大切にすること」そんな保育士の思いが伝わればいいなと思います。8月は田舎へ帰省の方も多いと思います。海へ山へと夏ならではの遊びをいっぱい経験してくださいね。



◎8月は個人懇談が始まります。それぞれの悩みや相談もあると思います。要望や意見なども、率直に言って頂き、子どもたちが少しでも快適に安全に過ごせるようにしていきたいと思います。15分間になっていますので考えをまとめておいて下さい。

◎9月9日（金）グランドパパママの日を開催予定です。9:45分～1時間位を予定しています。

行事予定

8月 5日（金）ゆめっこバザー（夕方行います。）

8月 8日（月）月例健診

8月17日（水）誕生会

8月20日（土）～22日（月）全国合研 in 島根

8月23日（火）避難訓練

8月26日（金）プール閉まり（流しソーメンをします）

8月31日（水）浜脇デイサービス訪問（3・4・5歳児）



～食べることは生きること～小西律子氏

話を聞いて給食室側から伝えたいこと、保育士側から伝えたいことの話し合いがいろいろ出来ているんだなと感じました。ゆめっこでは月1回の給食会議でしか話せないのもっと話す機会を増やせばいいなと思いますが、なかなかその時間を作るのも難しいかなと感じました。もっと給食室から発信できればと思います。また保育園にいる間はいろいろと支援も出来ますが、卒園してしまうとその支援をすることが出来なくなってしまうと聞き、出来ることもそうですが、保護者や子どもへの朝ごはんに対する知識を伝えたり卒園した後のことも見通しを持たないといけないと改めて思いました。

～就学前に大切にしたいこと～土佐いくこ氏

週5日制の小学校で1年生は毎日5時間目まで授業があります。4月に入学したら5月からもう連絡帳を書いて帰ります。低学年は15:00まで、高学年になると16:00まで学校です。もうクタクタです。そしてその後塾とかになるとどうなるのかな。そうやって学力で勝ち抜いてきたエリートの阪大生（私の見解ですが）なのに自分が嫌いという人がものすごく多いと聞いてただただ驚きました。「話を聞いてほしい」・・・人は言葉で繋がっていきます。豊かな言葉は豊かな体験とそれを聞いてくれる聞き手がいてこそです。豊かな経験で、USJやディズニーなんかではなくそれこそ園庭の泥んこ遊びや友達とのぶつかり合いや笑いや、みんなと食べるおいしい給食だと思います。大人は何か教えなあかん、しつけないあかんと思いがちですが子どもの育ちはまた違うところにあるのかなーと思いました。今の世の中本当に忙しいです。だからこそいかに子どもの話を聞けるか、いっぱい言いたいことがあって！！の子どもに育てたいなと思いました。そして何より「生きていることは楽しい事だ」と骨に刻み込んで育ててほしいと思っています。

～今求められる乳幼児の身体づくり～上月智晴氏

実践的なことが学べるのかと思っていたのですが理論的な話で分かりやすくスーッと入ってくる内容でした。まず印象に残ったことは、生活が便利になればなるほど身体づくりはしにくいという事で水筒やドアノブは一回押すと開けられ手をひねるといった動作が少なくなり、リモコンを使うことで背中を伸ばさないことなど日々の中で体を使うことが少なくなっていることを実感します。また便利さの進行は抱っこひもや、オシメを替えるときのスキップの時間も短くしているという事も印象に残りました。乳児期からのちょっとした動きが積み重なって身体づくりが出来ていくのを改めて感じました。

～記念講演「すべての子どもが安心して生活するために」～石川康宏氏

熱く熱く語る講演に、自分自身のことを振り返り、社会のことを、やはり意識的に目を向け、考えることが必要だと感じました。保育所の中で燃えつきたらいけない。保育は7～8割、そして2～3割は、社会をよくするために、力を注がないといけない。そのことが子どもたちの未来につながる大切なことなんだということが、一番心に残りました。